



鹿児島大学医学部の島興地域ナース育成センターの生徒22人が、8月3日から3日間、離島での実習を行うために来島しました。瀬利寛字のファンゲル塾を通じて、いきいき教室や社会福祉協議会での福祉研修等の町内のさまざまな活動に参加し、今後看護師になるための知識や技術などを学びました。

将来の看護師を目指して



県内の高校女子バレー強豪チームである錦江湾高校総勢33名が来島し、8月2日から4日間、沖永良部高校、徳之島高校と初めて合同合宿を行いました。錦江湾高校のバレー部では現在、知名町出身の選手が1名活躍しています。練習に参加した選手達は一生懸命練習に取り組んでいました。

強豪女子バレー部と合同合宿



8月12日に、「民泊事業説明会」を行いました。この「民泊」とは、農林漁業体験民宿の形態で行われ、一般民家に宿泊し「島の暮らしや生活、生業」を体験するための体験プログラムがセットになっています。まだ、沖永良部島では事業者が数件しかなく、これから新しく始まる観光資源として期待されています。

民泊事業説明会を開催



今回が初めてとなる「ワクワクとしゃかん」が、8月21日から23日にかけて町立図書館で行われました。町内の小学3・4年生16名が参加し、図書館内でお泊まり、図書館クイズ、牛乳パックでイカダ制作、野外活動、夜のお話し会、ジッキョの川遊びなど、楽しい夏休みの思い出をつくりました。

夜の図書館を楽しもう♪



平成19年のガジュマルと小学校舎

住吉小学校の校庭にあった、樹齢110年を超える大木のガジュマルの木が、今回の台風15号の影響で根元から倒れました。このガジュマルは、3年前の台風の影響で半分折れて倒れてしまい、残り半分の状態です。ガジュマルの木は、明治30年、旧島尻小学校が創立された年に、

住吉小学校のシンボルツリー



校門の前に挿木されたもので、それから長い間、住吉小学校のシンボルとして、冬にはイルミネーションなども飾られるなど、地元住民に愛され大切にされてきましたが、そのシンボルが倒れてしまい、多くの人が残念に感じていると、地元の方が語っていました。